

12～2月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

159,268円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(用紙代) 29,000円
交通費(駐車場、燃料代) 19,873円
通信費(折込、郵送、携帯電話代) 110,395円
支出計 25/12/1～26/2/28 159,268円
市議会議員には、月65,000円の政務活動費が支給

市政を考える 月刊武松

発行日
26/3/1

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

第232号
19500部発行

消費税率引上げに伴う交付金の活用 2026年度は29億6千万円(見込)を社会保障財源に

2026年度当初予算案が提案され、現在、市議会
予算特別委員会で審議されています。

総選挙で争点となった食料品の消費税減税です
が、前回の消費税増税で使途が明らかなものについ
て事業名と予算を表1に示します。

■2026年度予算案における消費税率引上げの活用

2014年4月1日から実施した、消費税率引上げに
伴う市町村交付金増収相当分(2026年度本市見込
額29億6千万円)については、その額を社会保障経
費に充当する。

歳入 市町村交付金(社会保障財源化分)

29億6000万円

歳出 社会保障関係事業に要する経費

392億4700万円

交付金うちが、児童福祉費:6億2740万円、介
護保険費:4億4552万円、後期高齢者医療費:3億
9093万円、障害者福祉費:2億9749万円、生活保
護費:2億8214万円となっています。

来年度の地方消費税交付金は、56億円となる見
込みです。減税に伴う減収分が補填されない場合、
市民サービスの維持に支障をきたす恐れがあります。

表1 予算(案)における消費税率引上げ分の活用

事業名		経費 (万円)	財源内訳 (万円)				
			特定財源			一般財源	
			国県支出金	市債	その他	社会保障財源 化分の市町村 交付金	その他
社会 福祉	社会福祉総務費	8億1488	8688	350	1328	1億1111	6億0010
	老人福祉費	4億6396	2億1653	830	7425	2576	1億3912
	障害者福祉費	66億2798	45億9662	2180	1億0531	2億9749	16億0675
	社会福祉外費	1691			447	194	1050
	児童福祉費※	122億1114	75億2476	8390	5億8653	6億2740	33億8855
	生活保護費	66億9804	48億2673		6533	2億8214	15億2384
	小計	268億3291	172億5152	1億1750	8億4917	13億4585	72億6887
社会 保険	国民健康保険費	16億1100	6億7823			1億4572	7億8705
	介護保険費	29億8872	1億3694			4億4552	24億0625
	後期高齢者医療費	29億7804	4億7570			3億9093	21億1141
	小計	75億7760	12億9087			9億8218	53億0471
保健 衛生	医療助成費	13億8574	3億3375		9468	1億4956	8億0776
	保健衛生総務費	7億8843	1912		6421	1億1016	5億9494
	予防費	13億5942	1億7556		1億0160	1億6908	9億1319
	保健センター費	2774			220	399	2155
	病院費	12億7500				1億9919	10億7581
	小計	48億3633	5億2843		2億6269	6億3197	34億1325
合計		392億4700	190億7082	1億1750	11億1186	29億6000	159億8682

※児童福祉費には、放課後児童健全育成事業、就学支援事業を含みます。

体育館にエアコン 4校に

近年の猛暑の影響で、小中学校の体育館は屋外と同様に、運動が危険なレベルの暑さに達しています。

避難所としての機能も持つ体育館には、災害時でも24時間稼働できる空調設備が欠かせません。万一の際も安全に、そしていち早く復旧できるエネルギー源の導入が、今まさに求められています。

市立小中学校屋内運動場空調設備設置事業について

■事業概要

市立小中学校の屋内運動場における夏季の熱中症対策および避難所の環境改善が喫緊の課題となっていることから、空調設備を順次設置する。

2026年夏季までに小中学校各2校へ先行導入し、空調効率、断熱改修の必要性、ランニングコスト等の検証を行う。その結果を踏まえ、2027年度以降に予定している全校への本格導入に向けた最適な整備手法等を確定させる。

■実施内容・予算額

先行導入校は、体育館の構造（設置の平易さ）、一次避難所としての機能、および地域バランス（川東・川西地区に小中各1校）を考慮し選定した。

エネルギー源については、対象校の敷地条件を鑑み、電気式を採用する。

小学校費 学校管理費

小学校施設維持・管理事業 委託料 1億1513万円
桜井小、下中小

中学校費 学校管理費

中学校施設維持・管理事業 委託料 1億1513万円
白山中、鴨宮中

■財源

市債（緊急防災・減災事業債）

■今後のスケジュール

2026年4月 契約締結、業務着手

2026年6月 空調設置完了・検証開始

地下街今後の運営について

3月定例会において、小田原地下街事業特別会計補正予算が可決されました。これまでは同会計の基金から不足分を補填してきましたが、基金残高の減少に伴い、事業収入の減額を補うため一般会計から3000万円を繰入れました。

小田原地下街の今後の運営について

■趣旨

小田原地下街事業の収支や基金残高の状況、小田原地下街運営評価委員会からの意見等を踏まえ、運営のコンセプトのほか、施設内容や管理運営体制の見直しを行い、地下街施設のリニューアルを行う。

■見直しの方向性

（1）コンセプトの再定義

現在、2014年の再生時の計画に基づき、地域経済の振興と中心市街地の活性化をコンセプトとした施設運営を行っているが、顧客利用実態調査の結果等も踏まえ、今後、市民の利便性の向上にも資する施設として運営する。

（2）施設内容の最適化

- ・ 空き区画を中心にテナント誘致を進め、全般的な再構成を図る。
- ・ 利便性や視認性を高めるため、一部の区画割を変更する。
- ・ 駅直結という立地特性を活かし、公共施設の設置を検討する。

（3）管理運営体制の検討

- ・ 現在、業務委託先である株式会社JR横浜湘南シティクリエイトと「一括賃貸借の導入に向けた事前合意書」に基づき協議を継続中である。
- ・ 一括賃貸借方式に限らず、多様な運営方式を視野に入れ、最適な体制を検討・調整している。

■スケジュール（予定）

2026年5月～施設改修工事に向けた設計業務

12月 施設改修工事費の予算上程

2027年春～施設改修工事

夏～秋 リニューアルオープン

■事後報告■

2月の月刊武松の発行は、衆院選の公示期間と重複するため中止しました。



公式HP
月刊武松パナパナ他



X(twitter)
防災・感染症情報



facebook
日々の情報など



ごみ処理広域化
実施計画



新しい学校づくり
施設整備指針